

まちアド 2025 Annual Report

播磨町まちづくりアドバイザー 令和7年度活動報告書

○ 担当した支援業務

- ・DX 推進支援
- ・タウンプロモーション委員会運営事務
- ・第5次播磨町総合計画後期基本計画策定事業
- ・こどもの権利条例（仮称）推進事業
- ・子育て支援センター運営事業
- ・みんなの居場所づくり事業
- ・JR 土山駅北周辺地区再整備検討事業
- ・北古田周辺地区まちづくり検討業務
- ・都市計画変更業務委託事業（本荘・古宮・二子・東野添）
- ・地方バス等公共交通維持対策事業
- ・空家等対策事業
- ・学校運営協議会設置事業

※支援依頼のあった業務

○ 講師・会議参加など

- 【話題提供・会議ファシリテーター】
- 4/20 中央公民館スタッフ研修
 - 5/22 市町村長会
 - 6/7 播磨町自治会連合会研修会
 - 6/22 中央公民館しゃべり場
 - 7/5 個別避難計画地域向け研修会
 - 7/13 新野添自治会子育て世代交流会
 - 7/24 南小いどばた会議
 - 8/19 中級教員ファシリテーション研修
 - 9/24 地球温暖化対策計画に関する事業者意見交換会
 - 12/24 教員と行政の意見交換
 - 1/27 青少年問題協議会
- 【会議参加】
- ・スポーツクラブ 21 はりま機能強化検討委員会
 - ・孤立孤独対策推進委員会
 - ・農業再生協議会総会

○ まちアドおしゃべり会

毎週1回、播磨町内にある4 コミセンをまわっておしゃべり会を開催しました。「どこに相談していいかわからない」や「新しく始めたいけどどうしたらいいか」といった話が多数寄せられました。お住まいの地区以外のコミセンでも構いませんのでぜひお越しください。実施日はコミセンだよりに掲載しています。



○ 広報はりま「まちアド通信」

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 4月 今ある場所や物もちよってつくれる居場所 | 10月 人が集まるのは正しそうな場所？楽しそうな場所？ |
| 5月 地域と学校がつながるきっかけづくり | 11月 これからのため池を考える勉強会 |
| 6月 アドバイザーの年次報告ができました | 12月 事業者のみなさんも一緒に話し合う |
| 7月 検討チームを通じた自治会活動の見通し | 1月 これからの古宮のまちづくりを考える |
| 8月 県立大学の学生が転入者とふるさと納税について調べてくれました | 2月 ひろがる多様な居場所づくりとつながりづくり |
| 9月 こどもたちが考えるこどもの権利条例 | 3月 多様な参加でつくる地域の取り組み |



播磨町まちづくり アドバイザーとは

播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズにより細かく対応するため、令和2（2020）年度からまちづくりの専門職員として「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援し、地域力の向上を図ってまいります。



南小いどばた会議 @ 播磨南小学校

ともに考え、ともにつくる を目指して

「播磨町っていろんなことがおこってて楽しそう！」町外に行くとそんなふうに播磨町のことを話してくれる方に多く会うようになりました。ここ数年の播磨町では地域の居場所づくりやイベントなど、たくさんの活動が生まれ続けています。またこれまで続けてきた活動も実施方法を見直したり、新たな取組を加えたりと絶えず更新され続けています。こうしたことが起こる背景には、多様な人での対話の繰り返しがあるように思います。異なる立場を尊重しあい、「少しでも楽しく、おもしろく地域で何かやってみよう」という気持ちが、少しずつ広がっているように感じます。

地域の中には、まだ表に出ていない想いやアイデアがたくさんあります。それらが誰かとの出会いや対話をきっかけに形になり、新しい活動として動き出していく。そんな小さな変化の積み重ねが、播磨町らしいまちの姿をつくっているように思います。これからも一人ひとりの思いを大切にしながら、「ともに考え、ともにつくる」関係がじわっと広がっていくことを願っています。

01

これからの地域コミュニティにむけて

多様な世代や立場から考えるこれからの地域

R7年度はこれまで以上に町内での対話の機会がひろがっていきました。また話し合うだけでなく、対話を通じて構想された様々な活動もはじまっていきました。

コミュニティのあり方検討委員会

これからの播磨町の地域コミュニティや地域拠点について検討する委員会です。有識者も交えながら中央公民館やコミセンのあり方などについて議論を継続しています。



古宮地区のまちづくり検討

狭あい道路の多い古宮7丁目を中心に今後のまちづくりについて話し合いが始まりました。防災の話題や今後増える空き家の対策などについて話し合いを重ねています。



子育て世代のつながりづくり

いくつかの自治会では新たな取組として子育て世代のつながりづくりをはじめています。播磨町に転入してきた方が「こんなときはどうしたらいい？」を話せる場としてゆるやかなつながりづくりになっています。



自治会連合会研修会

自治会長の研修会では自治会長同士で相談できる関係づくりを進めています。年度初めの研修では世帯数が近い自治会でグループになり話し合い、初めての自治会長でも安心できるように進めています。



ため池に関する勉強会

播磨町には3つのため池協議会があります（北池、新井大池、妹池）。ため池協議会がなぜできたか？ため池はなんのためにあるか？などを改めて学び、話し合う機会をつくっています。



県立大学学生企画の転入者カフェ

R6年度からはじまった兵庫県立大学環境人間学部の2年生のフィールドワーク。今年は播磨町の転入者がどんなことを考えているかを調査しました。つながる場の必要性など様々ななかかわり方が見えてきました。



02

これからの学校づくりにむけて

学校やこどもをきっかけにした対話の場

播磨町では学校と地域が連携した取り組みが進みつつあります。ここでもこども、教員、行政など多様な方々での対話が基本になっています。活動ありきではなく、対話を通じた関係づくりからこれまでの活動への工夫や新たな活動がつけられていくことを期待しています。

いどばた会議

播磨南小学校では半年に1回程度の頻度で教員と地域の皆さんで話し合う機会をつくっています。ここでは、これから学校と地域で連携してできることはどんなことがあるかを話しています。例えば、学校で作った野菜をコミセンで売ってみる？や学校で読み聞かせやってみようか？など地域の皆さんが学校に関わるひとつのきっかけになっています。



教員と行政職員の意見交換

はじめての取り組みとして小中学校の教員と行政職員の意見交換会を開催しました。行政が進めることにも関する取り組みをお知らせするとともに、学校現場で起こっていることについて行政職員も知る機会として開催しました。お互いに初めて知ることも多く、今後の開催希望の声もありました。



シニアクラブと学校の連携

シニアクラブと4つの小学校の連携が進みました。シニアクラブでは小学校ごとの連絡担当者を決め、実際にシニアクラブの皆さんが授業に参加したり、空き教室で校内居場所をつくったりと、様々なかたちでの連携が進みました。これまでにない新しい関係性がうまはれはじめています。



03

播磨町のまちづくりの現在地

話題提供や学びの機会づくり

市町村長会での講演

兵庫県内には播磨町も含めて12町があります。12町の町長が播磨町に集まる会合で、播磨町のまちづくりの現在地について話題提供しました。ここ数年進められている地域での居場所づくりなど地域が主体となって進めている取り組みを紹介しました。

その他、中堅教員研修など様々な機会での話題提供や学びの機会づくりを進めました。



会議の内容の可視化